

# 令和2年度 南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 取り組み結果

## ◎計画概要

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国の地球温暖化対策に即して、平成30年12月に「南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。

この計画は、町の事務や事業に関して、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取り組みを推進し、温室効果ガスの削減を目的としています。

また、その実施状況を点検して公表することで、町民や町事業者の意識高揚につなげ、地球温暖化対策を地域から積極的に推進していることを目指しています。

なお、この取り組みは、上位計画である第二次南会津町環境基本計画の環境指標にも位置付けられています。

- 取組期間／平成30年度～令和12年度（13年間）
- 対象範囲／町の事務事業 ※指定管理者の事務事業は対象外
- 基準年度／平成28年度
- 対象温室効果ガス／二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）
- 温室効果ガスの削減目標



基準年度排出量 平成28年度	削減 目標	目標年度排出量 令和12年度
3,923.6トﾝ-CO <sub>2</sub> (3,923,628kg-CO <sub>2</sub> )	26%	2,903.0トﾝ-CO <sub>2</sub> (2,903,000kg-CO <sub>2</sub> )

## ①取り組みの実績

令和2年度の温室効果ガス総排出量は、3,772.8トﾝ-CO<sub>2</sub>であり、基準年度から550.8トﾝ-CO<sub>2</sub>（14.0%）削減することができました。また、前年度（令和元年度）からは、121.8トﾝ-CO<sub>2</sub>（3.7%）の増加となりました。

基準年度から減少した要因として、「各施設での再生可能エネルギーの導入や、水道施設でのICTを活用した維持管理等により電気使用量を削減できたこと」、「新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや出張等が激減したことに伴い、公用車の使用頻度が低下したこと」ことが挙げられます。

また前年度から増加した要因として、「暖冬・小雪であった前年度から一転して、厳冬・豪雪となり、除雪回数の増加や各施設での暖房使用頻度が高まったこと」が挙げられます。

なお、エネルギー種別の使用量やCO<sub>2</sub>排出量は、別表のとおりです。

# 【エネルギー使用量・CO<sub>2</sub>排出量】

## ○基準年度比較

エネルギー種別	平成28年度（基準年度）		令和2年度		基準年度比		目標値
	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減率	令和12年度 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン(ℓ)	63,362.5	147,204.8	46,540.0	107,972.8	-39,232.0	-26.7%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	242,335.6	603,415.8	227,301.5	565,980.7	-37,435.0	-6.2%	
軽油(ℓ)	111,943.7	288,814.6	76,123.1	196,397.6	-92,417.1	-32.0%	
A重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(m <sup>3</sup> )	10,747.6	70,396.5	8,971.6	58,764.0	-11,329.5	-16.2%	
電気(kWh)	4,859,751.3	2,813,796.0	4,708,411.1	2,443,655.4	-370,130.6	-13.2%	
合計		3,923,627.7		3,372,780.4	-550,847.2	-14.0%	
		3,923.6t-CO <sub>2</sub>		3,372.8t-CO <sub>2</sub>	-550.8t-CO <sub>2</sub>	-14.0%	2,903t-CO <sub>2</sub>

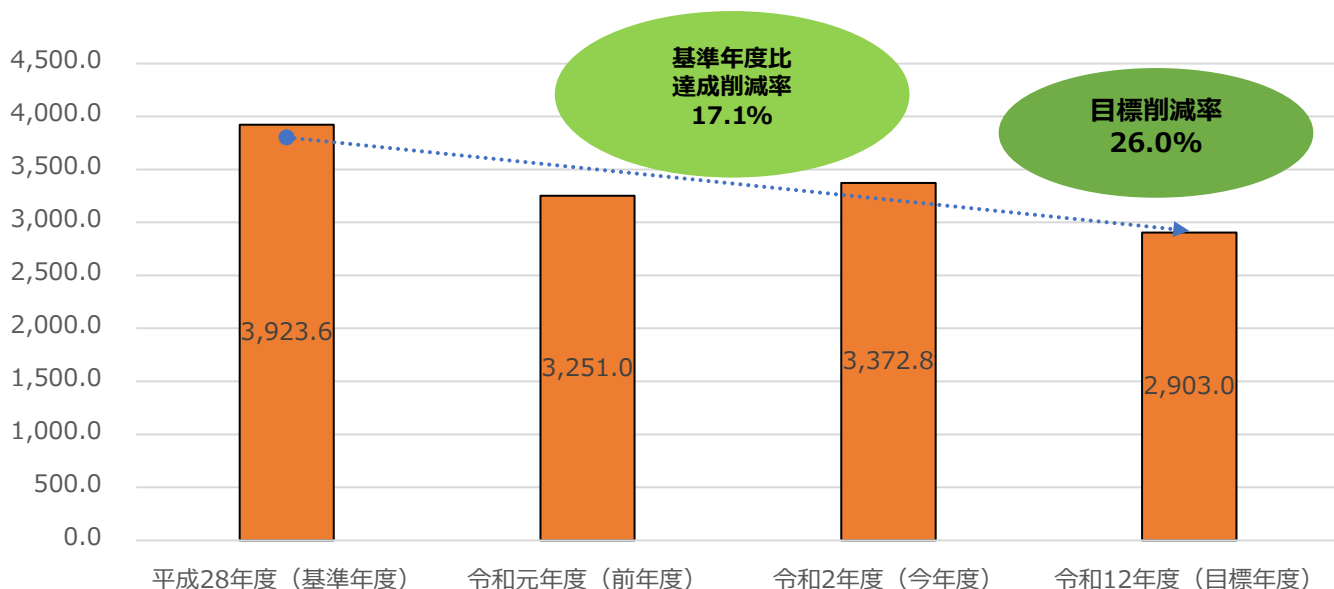
## ○前年度比較

エネルギー種別	令和元年度		令和2年度		前年度比		目標値
	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減率	令和12年度 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン(ℓ)	58,614.0	135,984.2	46,540.0	107,972.8	-28,011.6	-20.6%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	186,686.8	464,850.1	227,301.5	565,980.7	101,130.6	21.8%	
軽油(ℓ)	60,190.1	155,290.6	76,123.1	196,397.6	41,107.0	26.5%	
A重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(m <sup>3</sup> )	9,084.9	59,506.1	8,971.6	58,764.0	-742.1	-1.2%	
電気(kWh)	4,665,391.1	2,435,334.2	4,708,411.1	2,443,655.4	8,331.2	-0.3%	
合計		3,250,965.4		3,372,780.4	-121,815.1	3.7%	
		3251.0t-CO <sub>2</sub>		3,772.8t-CO <sub>2</sub>	121.8t-CO <sub>2</sub>	3.7%	2,903t-CO <sub>2</sub>

## ○比較グラフ

単位t-CO<sub>2</sub>

### 温室効果ガスの削減状況



### 《参考》

- ・ガソリン 1 ℓ を使用した場合、2.32kgのCO<sub>2</sub>を排出します。
- ・基準年度比で550.8tのCO<sub>2</sub>が削減できましたが、これはガソリン237,413.8 ℓ (200 ℓ ドラム缶1,187本相当) 分に相当します。

## ②地球温暖化対策関する今後の取り組み

職員一人一人が環境配慮の意識を高めて省エネ・省資源に取り組むことは、温室効果ガスの削減だけではなく、行政コストの削減につながることを意識しながら職務にあたります。

今後、次の項目に重点的に取り組み、令和3年度以降も引き続き、町の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量、エネルギー使用量、廃棄物排出量を抑制し、環境負荷の低減を図ってまいります。

### 【取組の重点項目】

項目	電気使用量の削減	冷暖房設備の適正な運用
取組内容	<p>◆温室効果ガス排出量のエネルギー別割合で約70%を占める「電気」使用量の重点的な削減を目指します。</p> <p>○昼休みや勤務時間外における、業務に支障のない範囲内での照明消灯の徹底</p> <p>○OA機器等不使用時の電源オフやスリープモードの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離席時におけるディスプレイ等のスリープモード徹底</li> <li>・プリンタ、印刷機等常時使用しない機器の節電設定や電源オフの徹底</li> </ul>	<p>◆気候変動の影響で猛暑日や厳冬日が増加し、冷暖房の使用頻度が増加している中で、各施設にあわせた運用により、電気や燃料使用量の削減を目指します。</p> <p>○施設単位で冷暖房の「稼働時間」、「設定温度」等定め、効率的な運用に努める。</p> <p>○施設や部屋によっては、サーキュレーター等を用いて、風量調節を行うことにより、冷暖房機器の負荷を軽減する</p>
項目	公用車の効率的な利用・使用回数の節減	省資源・リサイクルに対する取組
取組内容	<p>◆公務中の移動手段は公用車の利用がほとんどであることから、公用車の使用頻度削減と効率的な利用により、燃料使用量の削減を目指します。</p> <p>○出張時や会議等で同一方面に移動する際、相乗りの励行</p> <p>○時間に余裕を持った運転による、エコドライブの実践</p> <p>○近距離の移動における、徒歩・自転車への切り替え</p> <p>○会議等をリモート開催で行うことにより、公用車利用回数を減らす</p> <p>○公用車更新の際は、エコカーへの移行を推進する</p>	<p>○ごみの排出抑制及びルールに則った正しい分別の徹底</p> <p>○両面印刷及び内部文書のモノクロコピーの徹底</p> <p>○使用済み用紙の裏面再利用の徹底</p> <p>○内部文書や会議資料のペーパーレス化の推進</p>

